

## グローバル COECOE プロジェクト共催シンポジウム「人生と病いの語り」 シリーズ＜質的心理学の最前線＞（第2回）「人生と病いの語り」

---

日本質的心理学会研究交流委員会では、「シリーズ＜質的心理学の最前線＞」と銘打って、7月まで3回にわたって、研究領域に応じた質的研究の動向と方法論としての議論を超えて質的心理学が目指す方向性について議論をしていきます。第2回は、生涯発達・医療領域を取り上げます。

### ■シリーズ＜質的心理学の最前線＞（第2回）「人生と病いの語り」

ナラティブ・ターン（物語的転回）と呼ばれる学際的潮流が、心理学にも押し寄せています。「語り」がどのように経験をまとめ意味づけるのか、病いという経験を生きること、一見ネガティブな経験を意味づけることケアがどのように結び付くのか。これらの問題を、インタビューやテキスト分析を通じた質的研究としてまとめ、実践に活かしていく試みにチャレンジします。臨床分野の先生をお招きし、刺激的な発表と議論をお楽しみいただけるものと考えています。

話 題 提 供：やまだようこ（京都大学）

「喪失から生成へ転回（ターン）する語り－「千の風になって」を例に」

戈木クレイグヒル滋子（首都大学東京）

「闘病という長距離走が子どもにもたらすもの」

江口重幸（東京武蔵野病院）

「物語（narrative）は臨床場面になにをもたらしたか」

コメンテータ：岸本寛史（京都大学医学部附属病院）

山口智子（日本福祉大学）

司 会：永田素彦（京都大学）

日 時：6月8日（日）13：30－16：30

（受付開始：13：00）

会 場：京都大学吉田南キャンパス・総合人間学部棟 1102

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_ys.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_ys.htm)

参 加 費：日本質的心理学会会員＝無料

同 非会員＝1000円

定 員：100名（先着順）

先月のご案内から、短期間で多くのお申し込みをいただき、ありがとうございました。もう少し余裕がありますが、早めにお申し込みください。

※今回は、会場の都合で参加者数に上限があるため、予約制となります。参加登録はウェブサイトからに限られます。事務局等へメールやFaxで参加のご連絡をされても受け付けられませんので、ご注意ください。参加希望者は、下記ウェブサイトより参加登録をしてください。非会員の方の参加費は当日、現地で徴収いたします。なお、参加者が定員を超過した時点でこのウェブサイトを閉鎖します。

[http://wwwsoc.nii.ac.jp/cgi-bin/jaqp/yomi-mailer/y\\_mail.cgi?id=moushikomi](http://wwwsoc.nii.ac.jp/cgi-bin/jaqp/yomi-mailer/y_mail.cgi?id=moushikomi)

主 催：日本質的心理学会研究交流委員会  
共 催：京大 GCOE プロジェクト「心が活きるフィールド教育と生涯発達のサポートとシステム」  
連 絡 先：やまだようこ (yo-yay@nifty.com) (@が全角なのでコピー&ペーストするときには注意してください)